

社会科部門

総評

今年は愛知万博が開催され、入賞には至らなかったものの万博に関する作品が目立ちました。自由研究は好奇心を持つところから始まります。しかし、調べただけで終わってしまうと、せっかく一生懸命取り組んだ研究でも相手に伝わりません。自分なりの仮説を立て、調べた結果どういった発見があったかということまでまとめるという良い作品になると思います。

賞 文部科学大臣奨励賞

モノの値段を考える

東京都 白百合学園小学校 6年

久谷 理紗

今回の社会科学習指導要領改訂のポイントには金融教育や法教育だといわれています。理紗さんはそんな時代を先取りしたかのように「モノの値段」という経済の基本的な仕組みを、子どもらしいやり方で感性で分析し「経済学」の入門書と呼べる作品を作りあげています。需要と供給や、水・ゴミ・時間・命・労働などについて、「売る側」「買う側」の両方の視点から値段と価値の関係をわかりやすくまとめています。また、導入としてのお話やカードゲームを作るなどの工夫もされており、非常にユニークでオリジナリテイの高い作品になっています。

モノの値段を考える

6K 久谷理紗

理科知識

「お宝」はカードゲームを作ることで相手にわかりやすく伝えることができています。

理科知識

「お宝」はカードゲームを作ることで相手にわかりやすく伝えることができています。

理科知識

「お宝」はカードゲームを作ることで相手にわかりやすく伝えることができています。

賞 子どもの文化・教育研究所理事長賞

今の私にできること
小さなボランティアを探して

東京都 白百合学園小学校 4年

関 菜々美

当コンクール常連の受賞者である菜々美さん。今年は総合学習の時間に経験した「ボランティア」をテーマに選びました。ボランティアセンターや社会福祉協議会などを訪ねる中で、作品のタイトルがあり美は身近なところにも出来ることばかりたくさんあり、今の自分から出来ることから始めることが大切だと気づきました。また、自由研究の活動を通して命の大切さや生きることに意義を感じて、今という時間を大切にすることを教わります。10歳の夏休み、菜々美さんの心の成長、が伝わるすばらしい作品です。

今の私にできること

～小さなボランティアを探して～



4年 菜々美 25歳 関 菜々美

ボランティアを通して色々なことを得た菜々美さん

「今の私にできること」～小さなボランティアを探して～



「今の私にできること」～小さなボランティアを探して～



「今の私にできること」～小さなボランティアを探して～

賞 日本社会科教育学会会長賞

地震と茅ヶ崎の防災

神奈川県 浜須賀中学校 1年

古郡 万雅

万雅さんは、夏に茅ヶ崎で起きた地震を機に防災意識を持ちはじめ、地震の仕組みについて調べ始めました。自分が抱いた疑問に対して、地震の体験者だけでなく、市役所や消防局、水道局、大型スーパーや自治会などの様々な施設に赴きインタビュー取材を行っています。そして最後に家族で防災対策会議を開き、災害があった時にどうするか話し合っています。防災について真剣に考えさせられる作品です。



自ら取材をすることで生じる知恵が身についています。

賞 中央出版株式会社社長賞

地平の事象

原子力発電を通して見えてきた世界

兵庫県 須磨浦小学校 6年

奥住 絵梨

原子力発電を追い続け、同じテーマの研究で3年連続の入賞を果たしました。これまでの作品と同様、新聞を読んで、記事を集め、自分なりに考えて、事象をまとめるという地道な手法ながら、年々高度になっていくことに驚かされます。継続研究の集大成にふさわしい、力強い作品です。



興味を持って追求していることが伝わります。

賞 優秀賞

くらしの中の広告

岐阜県 各務小学校 3年

柴山 真純

「くらしの中の広告」